

東京都社会人ハンドボール連盟に所属している選手・役員の皆さんとハンドボールファンの皆さまへ

2020年7月20日

平素より当連盟の活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された方、被害にあわれた方に、心よりお見舞い申し上げます。

コロナ禍の中でも「身体を動かしたい、ハンドボールを楽しみたい、けれども新型コロナへの感染が怖い」と多くの方が思われているのではないのでしょうか？非常事態宣言が解除され東京アラートも解除されましたが、東京都では非常事態宣言が発出された時より感染者の数が増えております。連日300名ほどの感染者が確認されています。PCR検査の実施を増やしているためとの都知事の談話もありますが、感染経路不明の感染者の増加は、今後まだまだ感染者の増加を予想させます。

連盟では2020年9月からの第50回東京都社会人ハンドボールリーグ選手権の開催を案内していましたが、7月19日に行われた理事会で中止を決定いたしました。当連盟では皆さんの安心安全の確保（ワクチンの普及など）ができてからリーグ戦を開催したいと思っています。Withコロナの新社会生活として「うがい手洗い3密を避けてソーシャルディスタンスと不要不急の外出を控える」といった制約の下では、コンタクトスポーツであるハンドボールの試合を実施することは難しいかと思えます。当連盟の大会は教育の一環でもある中体連、高体連、学連の部活動と違いハンドボールの同好の集まりであります。よって万が一感染した場合の社会的な影響を考えると、無理に開催する必要はないのではと考えています。また、学生のように卒業までにという時間の制約も無いため、無理に開催する必要もないとも考えています。安心安全が確保できたなら11月からの年度またぎでの開催や、1月あるいは2月からの予約できている体育館を活用して2020・2021年度大会とする案もありましたが、長く練習をしていないチーム状況から考えると冬場の試合はコロナ禍とは別の危険を招きかねないとの結論に至りました。

ただし、安心安全の確保状況にもよりますが、来年2月3月で2021年度の上位大会出場チームを決めるトーナメントを、男子1部と女子Aにより開催することを検討しています。開催が不可となった場合は理事会で推薦チームの選定をいたします。

引き続き、不要不急の外出の自粛とソーシャルディスタンスを心において、一日でも早く日常生活を取り戻せるよう共に頑張りましょう。2021年度の大会が開催されましたら笑顔の皆さまと再会したいと思います。今後も本連盟の活動にご理解ご支援のほど、よろしく願いいたします。皆さまと皆さまのご家族、ご友人の方々のご健勝を祈念させていただきます。

東京都社会人ハンドボール連盟

理事長 橋本 永治